

◇単元指導計画（全14時間）

第1次：川と川原の石（2時間） 第2次：流れる水のはたらき（5時間）

第3次：わたしたちの暮らしと災害（1時間） 第4次：川の観察（4時間） 第5次：まとめ（2時間）

月 日	学習目標（○）と課題（①～⑭）
6月10日	<p><u>（1）川と川原の石</u></p> <p>○地面を流れる水や川の様子に興味をもち、流域による川や川原の石の様子の違いについて、資料を活用して調べることができる。</p> <p>①流れる場所によって、川と川原の石のようすには、どのようなちがいがあろうか。</p> <p>〈キーワード〉川ばは 石の大きさや形 土地のようす 流れる水の速さ</p>
6月13日	<p>○いろいろな川の上・中・下流の様子を比べ、川や川原の石の様子の違いを流れる水と関係付けて捉えることができる。</p> <p>②流れる場所によって、川と川原の石のようすには、どのようなちがいがあろうか。</p> <p>〈キーワード〉地形 川原の様子 水の流れ</p>
6月17日	<p><u>（2）流れる水のはたらき</u></p> <p>○流れる場所によって川の様子が違う理由に興味をもち、地面に水を流して、流れる水と地面の様子の変化を調べ、流れる水のはたらきについて考えることができる。</p> <p>③④流れる場所によって、川や川岸のようすがちがうのは、どうしてだろうか。</p> <p>〈キーワード〉しん食 運ばん たい積</p>
6月下旬	<p>○水量と流れる水のはたらきとの関係について予想し、水量を変えて流れる水のはたらきを調べるモデル実験を行い、水の速さや地面の削られ方を調べることができる。</p> <p>⑤⑥流れる水のはたらきは、どのようなときに大きくなるのだろうか。</p> <p>〈キーワード〉水の量 流れる水のはたらき</p>
7月上旬	<p>○水量と流れる水のはたらきとの関係について、実験結果を実際の川に当てはめながら考え、土地の様子が変化する理由をまとめることができる。</p> <p>⑦流れる水のはたらきは、どのようなときに大きくなるのだろうか。</p> <p>〈キーワード〉水の量 流れる水のはたらき</p>
7月中旬	<p><u>（3）わたしたちの暮らしと災害</u></p> <p>○川の水による災害や災害に対する備えについて調べ、災害に備えることの重要性を考え、日常生活に活用することができる。</p> <p>⑧川の水がふえると、どのような災害が起きることがあるか。</p> <p>〈キーワード〉災害 大雨 洪水 台風 防災 減災</p>
7月21日	<p><u>（4）川の観察</u></p> <p>○実際の川を観察して、川や川の周りの土地の様子、災害を防ぐ工夫について調べ、流れる水のはたらきについて考えることができる。</p> <p>⑨⑩⑪⑫わたしたちの地域を流れる川のようすを観察する。</p> <p>〈キーワード〉川や川岸の様子 災害を防ぐ工夫 流れる水のはたらき</p>
7月22日	<p><u>（5）まとめ</u></p> <p>○これまでの学習を振り返って、流れる水のはたらきについてまとめることができる。</p> <p>⑬⑭プリントでまとめ学習、その後テスト。</p>

